

# 忘れてはならない名作映画上映会

2015年 モントリオール世界映画祭  
正式上映作品  
フォーカス・オン・ワールドシネマ部門

2015年 セントルイス国際映画祭  
コンペティション正式招待



この桜だけは、  
咲かさないかん・・・!

終戦七〇周年記念映画

# 陽光桜

YOKO THE CHERRY BLOSSOM



笹野高史 / 的場浩司 / 宮本真希

宮本大誠 貴山侑哉 水上竜士 グスーヨン 永倉大輔 牧島輝 森社太郎 木村桜  
可野浩太郎 コンタキンテ 田中章 真由子 速水今日子 小野進也 出光元  
長谷直美 野村宏伸 ささの翔太 川上麻衣子 津川雅彦 風祭ゆき

監督 / 脚本 高橋玄

プロデューサー=町田弥生/相川真範  
撮影=フィル・ハーダー 音楽=ベンジャミン・ベドゥサック  
美術=林天外 照明=小川満 録音=深田晃 編集=太田義則 CG=ライスフィールド  
制作主任=安井謙/田中宏樹 助監督=徳翔太 メイキング=土屋トカチ  
主題歌『終わらない歌』THE BLUE HEARTS  
作詞・作曲:真島昌利/編曲:THE BLUE HEARTS ©1987 by GINGHAM MUSIC PUBLISHERS INC.

企画・製作:映画『陽光桜』製作委員会/株式会社GRAND KAFE PICTURES 企画協力:特定非営利活動法人日本さくら交流協会

協賛: 伯方塩業株式会社/マルキン/井関農機株式会社/南海放送株式会社/愛媛新聞社/見奈良天然温泉 利楽/三福グループ/株式会社カネシロ/  
有限会社東京オリエンタルシップ/有限会社きたむら/伊予銀行/愛媛銀行/愛媛信用金庫/株式会社I do

後援: 愛媛県/愛媛県教育委員会/松山市/今治市/西条市/リトアニア共和国大使館/愛媛県PTA連合会/愛媛県商工会議所連合会/愛媛県商工会連合会/  
愛媛県中小企業団体中央会/愛媛経済同友会/愛媛県中央花き農業共同組合

協力: 東温市/砥部町/YOKOサポーターズ  
株式会社IMAGICA/株式会社ナックイメーテックノロジー/シネマサウンドワークス株式会社/日本照明株式会社/MTO/有限会社グリフィス/合同会社ラバン  
配給: GRAND KAFE PICTURES ©GRAND KAFE PICTURES 2015 カラー/5.1chサラウンド/1時間54分

助成:  文化庁文化芸術振興費補助金

<http://www.movie-yoko.com>

2018.8.31 (FRI) 阿倍野区民センター 小ホール(地下1階)

桜の種類はソメイヨシノや山桜などが有名ですが、“陽光桜”という品種をご存じですか？  
1980年に登録された“陽光桜”は、戦時中に生徒を戦地へ送り出した教師が、平和への願いと戦死した生徒への鎮魂の思いから、極寒の地でも猛暑の地でも色鮮やかに咲く新品種を生み出したのです。  
そしてそこには彼を支えた家族の深い愛があったのでした。  
今回のあべのコミュニティシネマ・忘れてはならない名作映画では、次の世代へ平和を語り継ぐためにその実話を映画にした『陽光桜』を上映いたします。



# 陽光桜

YOKO THE CHERRY BLOSSOM

ストーリー

1974年、愛媛県川内町(現在の東温市)の山間部にある高岡家は、一風変わった主人・高岡正明(笹野高史)と妻・艶子(風祭ゆき)、そして農業高校を卒業して家業の追いや農業をきりまわす長男・正堂(的場浩司)の3人家族。正明は商売を息子に任せっきりで、ひたすら自分の趣味の桜づくりに没頭する日々を繰り返していた。ある日、たまりかねた正堂は父・正明を問い詰める「親父！このままじゃウチは破産やけん！なんで、わざわざ山を無駄に使うって、カネにもならない桜を作る必要があるんじゃ！」と。黙しげに沈黙した正明は、静かに戦前の物語を息子に語り始めた。

桜に秘められた、深い哀しみの実話。  
終戦から七〇年—知られざる偉人・高岡正明の物語が、いま甦る。

本作『陽光桜 YOKO THE CHERRY BLOSSOM』は、愛媛県川内町(現在の東温市)で生まれ2001年に92歳で亡くなった「知られざる偉人」高岡正明氏の生涯をモデルに描かれる、感動のヒューマン・ドラマ映画である。

原作は本作の脚本・監督を務めた高橋玄著『陽光桜 非戦の誓いを桜に託した、知られざる偉人の物語』(集英社刊)。

孤高の義人・高岡正明を演じるのは名優・笹野高史(『男はつらいよ』シリーズ、『武士の一分』『グレイトフルデッド』)。本作が公式に初主演作品となる。

その長男・高岡正堂役に映画、テレビドラマ、バラエティなどで国民的人気を誇る俳優・的場浩司。長男の妻として高岡家に嫁いだ恵子役は、『おもちゃ』(深作欣二監督)で鮮烈な主演デビューを飾り多数の映画、ドラマで活躍する愛媛県出身の宮本真希。また、正明に添い遂げた妻・高岡艶子役にはクエンティン・タランティーノ監督『キル・ビル』や北野武監督『アキレスと亀』等で国際的にもファンが多い実力派女優・風祭ゆき。

共演には、本作が実に25年ぶりのスクリーン復帰作となる昭和の人気スター女優・長谷直美、野村宏伸、川上麻衣子、名優・津川雅彦。日本映画を代表する豪華スター俳優・女優の名演が、笑いと涙でつづられる感動のヒューマン・ドラマを誕生させた。

また、CM世界の巨匠監督にして『偶然にも最悪な少年』『ハードロマンチック』で劇場映画監督としても活躍するグスーヨン(具秀然)、往年の人気テレビドラマ『ワイルド7』の主演で知られる小野進也、時代劇などで馴染みのベテラン俳優・出光元、そして若手注目俳優のささの翔太が、私生活では実父でもある笹野高史演じる正明の若き時代を力演するなど、メインから助演まで見逃せないキャストが競演。

さらに撮影監督にはアメリカで活躍する映画監督・映像作家のフィル・ハーダーを迎え、音楽はフランスの若き作曲家・ピアニストのベンジャミン・ベドゥサックが参加。編集は『HANA-BI』『座頭市』『アウトレージ』等、北野武監督作品で知られる太田義則など、国際的な映画スタッフが集結。

本作は、愛媛の美しい山間部を舞台に、奇想天外なアイディアとバイタリティーで戦前戦後を駆け抜けた高岡正明の人生、彼と共に遅く生きる高岡一家のユーモラスなシーンにも彩られた、笑いと涙に溢れる王道日本映画である。

平和の大切さを次世代へと語り継ぐための物語が、終戦70年を迎えた日本で、いま明かされる！

(上映時間 1時間54分)

2018年8月31日(金)

①11:00～ ②14:00～

料金

会員料金 800円

当日料金 900円

※前売券の販売はございません  
(シニア割引・障害者割引なし)

阿倍野区民センター  
小ホール(地下1階)

〒545-0052  
大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118

- 地下鉄谷町線「阿倍野」6番出口反対側すぐ
- 阪堺上町線「阿倍野」下車徒歩2分



● お問い合わせ ●

大阪映画センター TEL 06-6719-2233

こちらのチラシご持参で3名様まで会員価格でご鑑賞頂けます！